



(2月21日 文化交流館)

子育て真っ最中 今私たちが思うこと ~母親クラブとの懇談会~

母親クラブとの懇談会には、各地域で活動する14クラブの中から6クラブ6人が参加し、市長と懇談しました。

本市の重要施策の一つである子育て支援。子育て真っ最中のお母さんたちから、日ごろの子育てから感じることや希望など、率直な思いを語っていただきました。

<出席者>

- 菊地 真理子さん (高梁)
- 中山 なつきさん (津川)
- 森下 登史江さん (川面・高倉)
- 赤埴 京子さん (宇治)
- 戸田 麻実さん (有漢)
- 妹尾 一十三さん (川上)

オブザーバー

- 西本 恵子 健康づくり課長
- 田村 好博 子ども課長

市長とふれあいトーク

市は、市民の皆さんの意見をお聴きし、市政運営の参考とする公聴事業の一つとして、懇談テーマを定め、各地域から集まっていたいただいた皆さんと市長が懇談する「市長とふれあいトーク」を行っています。
今月号では、2月に開催した「母親クラブとの懇談会」と「吉備国際大学生との懇談会」第2のふるさと高梁に想うこと」の様子をお伝えします。

■問い合わせ 企画課公聴広報係 (☎0210)



菊地さん

各クラブの活動状況から

市長 遠足で市内施設を利用しているようですが。

菊地 ハイランドマウンテンは、トイレも遊び場もあって使いやすいです。

ただ、駐車場から遊園地までの距離が遠く、荷物を抱えて子どもを連れていくのが大変です。



中山さん

中山 高梁自然公園も、トイレが完備されていてよかったです。トイレはとても大切。

市の施設に子ども用のトイレを設置してもらえると、子どもを連れてトイレを利用できるので便利だと思います。

市長 市としても、公共施設のトイレの整備は必要と考え、全市的に見直していく予定です。しかし、子ども用トイレが必

要ということは、これまでは出てこなかった発想です。貴重な意見を聴くことができました。

妹尾 公園整備は必要ですが、山間部の小規模な公園の管理がおろそかになっているのでは。

市長 使えなくなっているような遊具があれば、使用禁止など何らかの対応をおかないと危険です。もしそういったことがあれば、ご連絡いただきたい。

しつけなどで気を付けていることや困っていること

戸田 4歳の子が「イヤだ」と最近よく言い、喋り始めたばかりの2歳の子もまねをして困っています。ただ、それを頭ごなしに叱っている自分のことも反省したいです。



妹尾さん



戸田さん

菊地 兄弟げんかが多いです。母親クラブのような機会が多くあれば、幼稚園や保育園へ入園する前の準備もできて良いと思います。

中山 一人っ子の上、周りに同年齢の子どもがいなくてもあって、子どもたちの中に入ると、まだ我慢することができないようです。小児科などへ行っても、他の子どもたちとおもちゃの取り合いになってしまうことがあります。

そういうときには、しっかり叱りたいのですが、「目立つように叱ると虐待と勘違いされなにか」と思ったり、逆に相手のお母さんの気持ちを考えると「あのお母さんはどうして自分の子どもを叱らないんだろう」と思われるのではと考えたりすることもあって悩ましいです。